

追加情報

BEA WebLogic Server 8.1 SP3

WebLogic Server は、サーブレット、Java Server Pages、Enterprise Java Beans (EJB) を含む Java 2 Enterprise Edition テクノロジーを実装する BEA Systems 社のアプリケーションサーバーです。アプリケーションサーバーが Web、EJB および、いくつかの SAS 9.1 ミドル層プロダクトがロードされるクライアントコンテナを提供するため、これらの製品を使用する前にインストールする必要があります。

このプロダクトは、WebLogic Server の「埋め込み」バージョンです。SAS アプリケーションと連動する場合にのみ使用されます。

『BEA WebLogic Full Installer』というメディアは、CD 上に指定されたプラットフォームを対象としており、WebLogic Application Server バージョン 8.1 SP3 の新しいインスタンスをインストールします。『Service Pack 3 Upgrade Installer for WebLogic Server 8.1』というメディアも、CD 上に指定されたプラットフォームを対象としており、過去に SAS 社から提供された OEM CD を使ってインストールされた、既存の WebLogic 8.1 インスタンス (HPUX-IPF 上の SP1、Windows、Solaris、AIX 上の 8.1 SP2) を WebLogic Server 8.1 SP3 にアップグレードするために使用されます。UNIX 上で CD から WebLogic 用の SAS インストーラを起動するには、DISPLAY 変数を設定し、WebLogic OEM CD 上の setup.sh ファイルを実行します。Windows の場合、WebLogic OEM CD から setup.exe (Windows) ファイルを実行します。

ソフトウェアデポを使用している場合、以下にリストされているメディアコードによって、インストーラの場所とプラットフォーム専用のインストーラを起動するファイルを確認できます。

メディア名	メディアコード	起動プログラム
BEA WebLogic Full Installer on Windows 8.1.3	oem12cd	ssd/oem12cd/weblogicwin/setup.exe
Service Pack 3 Upgrade Installer for WebLogic Server 8.1 on Windows	oem37cd	ssd/oem37cd/weblogicuwin/setup.exe
BEA WebLogic Full Installer on Solaris 8.1.3	oem11cd	ssd/oem11cd/weblogics64/setup_s64.sh
Service Pack 3 Upgrade Installer for WebLogic Server 8.1 on Solaris	oem36cd	ssd/oem36cd/weblogicus64/setup_s64.sh
BEA WebLogic Full Installer on AIX 8.1.3	oem9cd	ssd/oem9cd/weblogicr64/setup_r64.sh
Service Pack 3 Upgrade Installer for WebLogic Server 8.1 on Solaris	oem34cd	ssd/oem34cd/weblogicur64/setup_r64.sh

BEA WebLogic Full Installer on HP IPF 8.1.3	oem10cd	ssd/oem10cd/weblogich6i/setup_h6i.sh
Service Pack 3 Upgrade Installer for WebLogic Server 8.1 on HP-IPF	oem35cd	ssd/oem35cd/weblogicuh6i/setup_h6i.sh

一度インストールされると、WebLogic Server インスタンスには、製品版のライセンスが含まれます。CD は、セキュリティ報告もしくはバグの修正に対応するパッチもインストールします。CD からインストールされるパッチには、その CD が作成された時点で BEA 社から使用可能だったものが含まれています。sas_applied_patches.txt ファイル（BEA WebLogic のインストールディレクトリにあります）には、インストールされるパッチが記載されています。最新のパッチに関する情報は、下記の「Web Application Server」のリンクから利用できる情報を参照してください。

[米国]

<http://support.sas.com/resources/thirdpartysupport/>

[日本]

<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/service/resources/thirdparty-support/>

SAS 社と BEA 社の OEM ライセンス契約の一部として、全ての使用許可、インストール、パッチの入手、パッチのインストールおよび技術的な質問に関しては、BEA 社よりも SAS 社が対応することになっています。ご不明な点は、SAS インストール担当者または SAS サポートコンサルタント経由で、SAS テクニカルサポート部門にお問い合わせください。連絡先は、インストールキットの「Service and Support」 Division を参照してください。最寄りの SAS 社の窓口は、SAS インストール担当者または SAS サポートコンサルタントにお問い合わせください。または、Web サイト (<http://www.sas.com/japan/corporate/index.html>) を参照してください。電話でのお問い合わせの前に、SAS テクニカルサポートの Web サイト、(<http://www.sas.com/japan/service/index.html>) を参照してください。そちらで問題の報告手順を提供しています。SAS 社は、その他にも、テクニカルサポートに寄せられた問題や質問の解決を支援する電子的サービスを提供しています。これらの電子的サービスは、24 時間年中無休でご利用できます。

著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

Additional Information – BEA WebLogic Application Server 8.1 SP3

Copyright® 2008, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です

英語版更新日 November 9 2006

BEA WebLogic Application Server 8.1 SP3

追加情報

2007年12月14日 第3版第2刷発行（913B99）

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (6434) 3680 FAX: 03 (6434) 3681